

大阪城

2023
6/26 (月)
14366 号

金港海
西成分会

2647
6647-
4947

植田日銀体制になって2ヶ月近くになるが、金利・金融政策にはあまり変化はなく、ゼロ金利、金融緩和政策は続いている。円は1ドル140円以下になり、円の値打ちは下りつづけている。

大きな旅行カバンをゴロゴロと引っぱって観光する外国人旅行者には円安で、自分たちの通貨が値うちが上り、日本の物が安く、たくさん買えるもので楽しい旅になっているようだ。日本人にとっては円安で、円の値うちがなくなった。外国からの輸入品は高くなり、物価高インフレ、生活苦を生みだしている。アメリカはじめ外国の投資家からみれば、日本株式などを安くのぞき、買収し、もうけは売りはらう。大きな利益を得て、日本株式はもてあそばれているようなものだ。大株主が日銀で日本政府のものなので、勝手に売られないのを見守らせられているように思っている。アベノミクスの失敗・誤りの毒とツケが回ってきているが、なかなか多心には正せないらしい。急ぎにやると、無理やショックが大きすぎて、社会が大混乱するとか心配しているらしい。正當化するために30年ぐらにかかるとか、金融関係者もいる。政治は軍事費や少子化対策での増税を計画・実行は始めている。秋と予想されはじめた総選挙にむけ、戦いははじまっている。

戦争・内乱・内戦？

ウクライナ・ロシアの戦闘が本格的局面になると目されている中、これまでロシア軍の中核的な役割を果たしてきた民間軍事会社ワグネルを率いてきたプリゴジンが「国防省に不満がある」として自前の軍を率いてモスクワへの進軍をはじめました。

昔みた映画での「5・15事件」や「2・26事件」なんかを思い返しましたが、規模が一回りおおきいようです。ただ取り巻く時代状況や閉塞感は共通しているようです。

そうした中で急転直下、裏でどんな事があつたかわかりませんが、プリゴジンが「兵を引く」といって1日で終息にいたりしました。

この戦争。最初から予期しないこと、想像の範囲を超えることの連続ですが、これからも複雑な要素を膨らませながら持続していきそうです。

一年も前半終わり

求人に関して言えば最悪の半年でした。梅雨が上がって暑い夏になりますが、すこし流れも変わるかもしれません。